

BLUE NOTE JAZZ ORCHESTRA WITH BLUE CANARY

2010
10.2
(SAT)



26TH CONCERT : 長岡リリックホール〈コンサートホール〉
開場/5:30p.m. 開演/6:00p.m.

Let's Sing! Let's Swing!



BLUE NOTE JAZZ ORCHESTRA

1971年に長岡市で結成。中越地区の同士が集い各種イベント等に出演。1980年代からはビッグバンド編成となり、84年から定期的開催しているコンサートも今年で26回目となります。近年は新潟ジャズストリートへも定期的に参加し好評を得ている。独自のアレンジと演奏力で幅広いジャンルの音楽に挑戦し、ジャズ本来の楽しさを追求し続けています。



Blue Canary

新潟で活躍中のボーカリスト、吉川ナオミ、田村トリサ、RENAの女性3人によるジャズコーラスユニット。グループ名は、3人の最も好きな色ブルーと、美しい声で鳴くカナリア(俗語で「女性歌手」の意味をもつ)を組み合わせたもの。声質の異なる3人の歌声が織りなす、複雑で美しいハーモニーと、個性豊かなソロパートの応酬——極上のブルカナワールドをお楽しみください。

演奏予定曲目

ドント・ビー・ザット・ウェイ
(その手はないよ)
追憶のテーマ
シング・シング・シング
センチメンタル・ジャーニー
Lovin' You
タキシード・ジャンクシオン
素敵なあなた
スイングしなけりや意味がない
ハロー・ドーリー! …ほか
(都合により変更する場合があります。)



GUEST PLAYER 林 文夫 (AltSax)

群馬県出身。75年、ブルー・コーツ・オーケストラに入団し、五十嵐明要氏に師事。同オーケストラでリード・アルトを務めた後、83年に渡米。ニューヨークのジャズモビル・スクールにて、フランク・フォスター氏に学ぶ。現地でも多くのセッションに参加し、ブルーノートなどにも出演。86年に帰国後、多くのバンドに参加。99年にはニューヨーク録音の1stリーダー・アルバム「チェルシー・ブルース」をリリースした。現在はマイク・ブライス・ビッグバンド、篠崎秀樹とSFO、自己のクアルテット、あるいはクラシックなどジャンルを問わずコンサート、レコーディング、ライブなどの演奏活動を行なっている。また、山野楽器ウインドクルーのジャズ・サクソフラス講師も務めている。

Ticket

1,000円(前売)
1,200円(当日券)